

2026 年度 学生研修旅行 実施報告書

1. 目的および概要

学生の視野を広げ、教養を深めるとともに、学生相互および職員との親睦を図ることを目的として、以下の通り学生研修旅行を実施しました。

実施日時： 2026 年 10 月 4 日（日）

対象： 山梨学習センター所属学生（16 名）

引率職員： 村松俊夫（所長）、小林浩信（事務長）、平山栄治（職員）、中澤ひろみ（職員）

目的地： 長野県松本市・上田市方面

山梨大学総合案内所前（7:05 集合）、および甲府駅北口（7:20 集合）にて参加学生の点呼を行い、予定通りバスを出発。中央道の渋滞により、予定時間を遅れて、山梨大学総合案内所前 19:15 帰着

2. 当日の行程および見学内容

①国宝 松本城

安土桃山時代末期から江戸時代初期に建造された現存天守（国宝）を見学しました。かつて「深志城」と呼ばれていた歴史や、日本に 5 つしかない国宝天守の 1 つとしての威厳ある佇まいを間近で体感しました。秋の気配が漂う美しい城郭の景観とともに、皆さん熱心に見学し、地域の歴史文化遺産への理解を深める機会となりました。



② 戦没画学生慰霊美術館 無言館

第二次世界大戦で命を落とした画学生たちの遺作を募り、1997 年に開館した戦没画学生慰霊美術館を訪問しました。館主の窪島誠一郎氏が全国の遺族を巡って収集した絵画の数々を鑑賞し、志半ばで戦場に散った若者たちの無念や芸術への情熱を肌で感じ、平和の尊さを深く考えさせられる静謐な時間となりました。厳かな雰囲気の中、学生一人ひとりが真剣な面持ちで作品と向き合っている姿が印象的でした。

③ 昼食：きのこむら深山

宮澤きのこ園直営の「きのこむら深山」にて、信州きのこ料理の昼食をいただきました。自家栽培された新鮮なぶなしめじをはじめ、秋ならではの味覚を堪能しました。「美と健康はきのこから」というテーマの通り、地域の豊かな食文化に触れながら、午前中の見学の感想を語り合うなど、席を交えて学生間および職員との和やかな交流・親睦を図る充実した休憩時間となりました。

④ 信州の鎌倉別所 自由散策

「信州の鎌倉」と呼ばれる別所温泉周辺を自由散策しました。現世の利益をもたらすとされ、善光寺と対をなす「北向観音」や、わが国最古の禅宗様建築である国宝・八角三重塔を有する「安楽寺」など、鎌倉時代末期から続く深い歴史を有する街並みを各自の関心に合わせて巡り、有意義な時間となりました。

3. 総括および今後の課題

本年度の学生研修旅行は、歩きやすい涼しい天候にも恵まれ、大きなトラブルや体調不良者の発生もなく、行程表通り安全に全行程を終了することができました。

帰路のバス車内にて実施した参加アンケートでは、「無言館に行くことができて良かった」「他の学生や職員と色々な話ができてとても参考になった。楽しい一日になった」といった好意的な意見が多く寄せられ、当初の目的を十分に達成できたと考えます。

一方、「歩く距離が長く、急な階段を昇る場面があり、少々きつかった」との感想もあり、参加者の体力面への配慮や事前のルート案内、あるいは行程のゆとりを持たせる工夫などが次回に向けての課題として挙げられます。なお、研修旅行中の様子を収めた写真の一部については、事前にアナウンスした通り、今後の機関誌や学習センター作成の機関誌・SNS 等への掲載に活用していく予定です。今回得られた反省点や学生からの要望を考慮し、次年度以降もより魅力的な研修旅行の企画運営に努めていきたいと思いをします。